

1月27日(水曜日)「波乱の生涯の中でも(1)」

【新改訳 2017】

創世記 37・1-36

「ヨセフが兄たちの所に来たとき、彼らはヨセフの長服……をはぎ取り、彼を捕らえて、穴の中に投げ込んだ。『……さあ、ヨセフをイシュマエル人に売ろう。……』イシュマエル人はヨセフをエジプトへ連れて……パロの廷臣……にヨセフを売った。」
(23-36 節)

きょうから、波乱万丈の生涯の中で神のすばらしい祝福を体験した人＝ヨセフから学びたいと思います。きょうの箇所は、波乱の始まりの記事です。

ヨセフは2つの夢を見て、その内容を兄弟たちに話しました。それは、家族がみなヨセフにおじぎして拝むという内容だったので、兄弟たちの恨みを買いました。次に、兄弟たちはヨセフを殺害しようと試みましたが、実行できず、通りかかった商人に売り渡しました。商人は、エジプトの宮廷の高官に売り、ヨセフはまったく不思議な方法でパロの宮廷に入ることになりました。

一見惨めに見えた彼の生涯は、大きな可能性に向かって進んでいました。背後には神の導きがあったのです。

～祈り～

主よ。あなたは、あなたを信頼する者を、どのような人の仕打ちの中でも、結局は最善となるように導いてくださるお方です。そのことを心から信じる者にしてください。

【学びのために】

人の幸い、不幸は、一面的には決められないものです。ですから、いつも主なる神さまとの関係で考え、行動することが大切です。詩篇 73・1－28 参照。